

平成 29 年度事業報告

1. 普及啓発事業

(1) 機関誌発行事業

- ・機関誌「エネルギーと動力」を 2 回発行（春季号、秋季号）し、当協会会員、国会図書館等に配布・販売するとともに当協会ホームページに掲載した。
- ・企画審議のための編集委員会を 2 回（6 月 13 日、12 月 5 日）開催した。

(2) シンポジウム事業

- ・エネルギー関連 5 団体（電力、ガス、石油、石炭、電機）のトップが講演する「エネルギートップ講演会」を下記により開催した。

主催 : 日本動力協会

日時 : 12 月 1 日（金） 13 時 20 分～17 時 20 分

場所 : 日本工業倶楽部 大会堂

テーマ : 「最近のエネルギー産業の課題とその対応」

参加者数 : 約 150 名

<プログラム>

(敬称略)

開会挨拶 日本動力協会会長

梶本 晃章

来賓挨拶 経済産業省資源エネルギー庁次長

保坂 伸

講演 1 「電機産業における課題とその対応」

一般社団法人日本電機工業会 会長

北澤 通宏

講演 2 「持続可能なエネルギー供給における石炭の役割」

一般財団法人石炭エネルギーセンター 会長

北村 雅良

講演 3 「石油産業の課題とその対応」

石油連盟 会長

木村 康

講演 4 「低炭素社会に向けた天然ガスの役割と貢献」

一般社団法人日本ガス協会 会長

岡本 毅

講演 5 「わが国の電気事業の課題とその対応」

電気事業連合会 会長

勝野 哲

2. 世界エネルギー会議 (WEC) 事業

(1) WEC 年間事業活動への参画

① 執行理事会(WEC Executive Assembly)への参加

- ・10 月 18 日、ポルトガルのリスボンで開催され、村木副会長、協会 4 名、他 1 名が出席した。
- ・主要議題は、常設委員会報告、決算・予算の承認、並びに常設委員会メンバーの承認と WEC オフィサーの選任等であった。
- ・イエメン、パナマ、ドミニカ共和国の 3 か国が正規メンバーとして、また、ベトナムのグリーン・エネルギー・ネットワークスがダイレクト・メンバーとして加入したことが報告された。

② WEC アジア地域会議 I への参加

- ・6月22日、韓国のソウルで開催され、村木副会長、協会2名、他1名が出席した。
- ・主要議題は、ロンドン本部の最近の活動状況報告および日本がリーダーを務めるスタディである「アジア地域における温暖化ガス削減方策好事例」の中間報告等であった。

③ WEC アジア地域会議 II への参加

- ・10月17日、ポルトガルのリスボンで執行理事会に併せて開催された。村木副会長が議長を務め、協会から4名が出席した。
- ・日本がリーダーを務めるスタディである「アジア地域における温暖化ガス削減方策好事例」の最終報告書が概要説明の後、承認された。また、次回のアジア地域会議について、東京で5月末に開催することを日本から提案し、承認された。

(2) WEC 委員会への参加

①スタディ委員会 (Studies Committee)

- ・10月17日、ポルトガルのリスボンで開催された委員会に、村木副会長と委員である当協会の野田事務局長を含む協会から4名、他1名が出席した。
- ・主要議題は、エネルギーシナリオ、エネルギートリレンマ、課題モニター、ならびにレジリエンスの4つの旗艦スタディの活動状況報告およびそれらの今後の方向性についてであった。

②プログラム委員会 (Programme Committee)

- ・5月15日にイギリスのロンドンで開催された委員会に当時委員であった関西電力の武智国際部長が参加した。さらに、10月17日にポルトガルのリスボンで開催された委員会に、新委員となった関西電力の高野国際部長および協会から4名が出席した。
- ・議題は、現在実施中のロンドン本部組織改編や調査・研究テーマの見直しの進捗状況報告、各国 MC や地域における活動状況、ならびに世界ガスセンター (GGC) や FEL(Future Energy Leaders)100 の活動報告等であった。

③ファイナンス委員会 (Finance Committee)

- ・10月18日、ポルトガルのリスボンで開催された委員会に、委員である東京ガスの村木アドバイザーが出席した。

④日本が参画しているワークプログラム

日本からは、以下のグループ等に委員として参画した。

<スタディグループ>

○ 世界のエネルギー トリレンマ (World Energy Trilemma)

- ・11月にドイツのボンで開催された COP23 の中で、「世界エネルギートリレンマ 2017」および「世界エネルギー・トリレンマ・インデックス 2017」を発表した。
- ・日本から、当協会の村田特別研究員が委員に就任している。

○ 世界のエネルギーシナリオ (World Energy Scenarios)

- ・5月に「世界のエネルギーシナリオ 2017：ラテンアメリカ・カリブ諸国 (LAC) 編」を発表し、2月に「世界のエネルギーシナリオ 2017：サブサハラアフリカ編」を発表した。
- ・日本から、東京ガス オーストラリア社 社長の田中 崇氏および東京ガス 海外事業企画部 海外事業支援担当副部長の福島 亮氏が委員に就任している。

○ エネルギーインフラの強靱化に向けた投資（Financing Resilient Energy Infrastructure）

- ・日本から、東京電力ホールディング 事業開発室長の難波 雅之氏と東京海上日動リスクコンサルティング 企業財産本部 経営リスク定量化ユニットの高岸万紀子氏が委員に就任している。

（3）その他 WEC 関係活動

①海外への情報発信

- ・WEC の定期刊行物に記事を投稿し、日本のエネルギー事情等を世界に発信した。

<World Energy Inside>各国 WEC 国内委員会向けのニュースレター

1月号：「エネルギートップ講演会」

- ・各国 MC 会長を含む WEC 関係者に、以下のレポートをメール配信した。

“Current Energy Situation in Japan”

3. 会員サービス事業

（1）会員講演会およびパワートークの開催

<会員講演会>

① 開催日：6月19日

講師：東京大学名誉教授

佐々木 毅氏

演題：「日本の政治の動向と安倍政権の行方」

<パワートーク>

① 第22回

開催日：5月25日

講師：電力広域的運営推進機関 理事

内藤 淳一氏

演題：「広域機関の役割と平成29年度供給計画の概要」

② 第23回

開催日：8月30日

講師：東京ガス株式会社 アドバイザー

村木 茂氏

演題：「水素社会に向けた取り組み：戦略的イノベーション創造プログラム」

③ 第24回

開催日：2月14日

講師：東京大学 生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター

特任教授

岩船 由美子氏

演題：「再エネ大量導入時代におけるデマンドレスポンスの可能性」

（2）定期刊行物の発行、配布

- ・当協会および WEC の活動状況に関する情報を提供するため、「ニュースレター」を6回（隔月）発行し、当協会会員へ配布するとともに、ホームページに掲載した。

4. その他

(1) 会議の開催

- ・総会 1回 (6月19日)
- ・理事会 3回 (5月22日、6月19日、3月7日)
- ・運営評議員会 1回 (3月7日)

(2) 各種委員会の開催

- ・技術委員会 (委員長: 松橋 隆治 東京大学大学院教授) を3回 (7月28日、12月14日、3月6日) 開催した。

(3) 移行法人としての内閣府への書類提出

- ・公益目的支出計画実施報告書の提出を6月19日に行い、11月10日付で審査完了通知を受領した。

以上